



## ROYALTY ポリオ撲滅 END POLIO NOW



2011.2.23 (水) 午後7時RI創立記念日に日本では初めての金沢城でのイルミネーションが行われた。この日は世界の有名な建造物でも行われたが、先ず金沢城(菱櫓)前で藤舎真衣さんと藤舎良真有さんの横笛でスタートが切られた

### 2010～2011

**(役員)** 会長：藤間勘菊 エキト：西村邦雄 副会長：北山吉明 幹事：宮永満祐美 副幹事：上杉輝子

前会長 村田祐一 会計：竹田敬一郎 SAA：永原源八郎

**(理事)** クラブ管理運営委員長：水野陽子 副：二木秀樹(親睦：上杉輝子 プログラム：魏 賢任

SAA：永原源八郎 ニコニコ：二木秀樹 友好・クラブ細則：井口千夏 奉仕プロジェクト委員長：吉田昭生

副：魏 賢任(職業：申 申奎 社会：野城 勲 国際：木村幸生 ラオスITセンタープロジェクト：炭谷亮一)

会員組織委員長：金沂秀 副：杵屋喜三以満 (会員増強：金沂秀)

ロータリー財団委員長：木場紀子 副：東海林也令子(ロータリー財団・米山：吉田昭生 年次寄付：藤間勘菊)

広報委員会委員長：多田利明 副：北山吉明・土田初子(広報：東海林也令子 ロータリー情報：土田初子

会報：石丸幹夫) PETS・地区協議会実行委員長：北山吉明 副：多田利明、宮永満祐美、井口千夏

理事： 常任理事： 石丸幹夫

★太字：理事役員

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-1111 例会日時 木曜日 19：00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒920-0852 金沢市此花町 3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 相川晶代

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL <http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/>

事務局執務時間 月火水金 10：00～16：00 木 15：00～20：30 休憩時間 12：00～13：00 休日 土日祝日



# 例会便り

596回

ポリオイルミネーション例会

18:30~19:00 金沢城 河北門 2階

2011.2.23 (水) 出席率 9/36 80.56%

1月修正出席率 72.38%

点鐘



挨拶：藤間勸菊会長

挨拶：中川可能作 RI コーディネーター補佐、2610 地区直前ガバナー



石川県知事メッセージ  
代理 菊地修一健康福祉部次長



山野之義金沢市長



小森貴石川県  
医師会長



炭谷亮一  
ガバナーエレクト

藤間勸菊会長から先ず今日のイルミネーションへ努力とお世話ご協力いただいた各位への御礼やご出席いただいた来賓の方々や市民の皆様、ロータリアンに感謝の意を述べると共にポリオの撲滅の願いの言葉がありました。



続いて中川可能作 RI コーディネーター補佐から日本の金沢市にこのイルミネーションを実行するための国際ロータリーへの働きかけ、許可を得て炭谷亮一ガバナーエレクトと金沢百万石クラブが実施のお世話をするようにとのお話がありました。非常に情熱的で牽引車の様な氏の発言でした。

菊地修一健康福祉部次長から石川県知事のメッセージ、山野之義金沢市長の祝辞に続いて 小森貴石川県医師会長は「このポリオはかつては日本でも子供達や親に恐怖をあたえた大流行があった」「私もロータリアンですのでの頑張りたい」と述べられた。

炭谷亮一ガバナーエレクトは「ポリオ撲滅はみんなで頑張れば必ず出来るからやりましょう」と情熱的に語られた。



Polio 募金を呼びかける岩倉舟伊智次期地区幹事  
☆ポリオ撲滅への募金額 54,350円でした。

点鐘





例会に続いていよいよ POLIO 撲滅のイルミネーション

19:00 から真っ暗の中での藤舎真衣さんの横笛の音が聞こえ、いよいよ照明が始まりました。



例会イルミネーションの後は兼六城下町で懇親会



中川パストガバナーから「祝点灯」をいただく



会長と篠笛演奏された藤舎真衣さんと藤舎良真有さん



幻想的なシーン北國新聞 H23.2.28

月太満衛（杵屋喜佐以満会員令嬢）、横笛、チェロ（ルドビート・カンタさん）が能「歌占 UTAURA」で演じ、幻想的な素晴らしい表現でした。作曲 笠松泰洋

北山吉明会員のコンサート 3/2（水）19:00 金沢市アートホール  
聴衆で満員のコンサートが終わって伴奏の中田さんと



### 会員消息

望月太満衛さん（杵屋喜佐以満会員令嬢）、

石川県音楽文化振興事業団の「若き鼓動～芸の息吹き～」県立音楽堂邦楽ホールで講演が行われ大2部ではコンテンポラリーダンサーの森山開次さんが琴、太鼓

## 2013-2014 年度ガバナー・ノミニー候補の告知について

R I 細則第 13 条第 020 節 4.5 項ならびに地区組織に関する要覧の規定に従い、地区ガバナー指名委員会を開催し、慎重審議の結果、2013-2014 年度 国際ロータリー第 2610 地区ガバナー・ノミニーとして小松ロータリー・クラブ会員の湯浅外志男 君を全員一致で推薦することに決定いたしましたので、ここに告知いたします。

期日（3 月 15 日）までに特別な異議がない時には、地区ガバナー指名委員会の推薦どおりに湯浅外志男君を地区ガバナー・ノミニーとして宣言する旨を通達いたします。

### 湯浅 外志男（としお）君 （小松 R C） 職業分類 自動車販売



生年月日 1935 年(昭和 10 年)2 月 17 日  
住所 石川県小松市梯町ホ 22-1  
最終学歴 1953 年 3 月石川県小松実業高等学校商業科卒業  
職歴 1953 年 4 月河村モーターズ 加賀マツダ販売株式会社  
1960 年 5 月 ユアサ自動車工業株式会社 設立加賀マツダ販売株式会社  
ロータリー歴 1984 年 2 月 小松ロータリー・クラブ 入会 ポール・ハリス・フェロー  
1985 年 11 月 米山功労者マルチプル  
2000-01 年度 小松ロータリー・クラブ第 46 代会長  
2000-01 年度石川第 2 分区ガバナー補佐  
その他の役職 小松自動車販売整備振興協同組合 理事長

#### ガバナーエレクトからの手紙

3 / 17

#### 「死をも恐れぬロシアのジャーナリスト」 炭谷亮一



ペレストロイカで民主主義国家に移行したはずのロシアに揺り戻しが起こっている。プーチンは、反政権色の強いメディアの経営者や大株主に圧力をかけて経営権の放棄や株の売却を強制し、代わりに政府や政府系企業が株を独占するというやり方で、着々と言論統制の布石を打った。その結果、今ではロシアのテレビや新聞から政権批判の報道が一切消え失せた。

メディアへの圧力は報道統制だけではない。ロシアではジャーナリストの襲撃事件が年間 80～90 件も起きている。政府の広報機関と化したメディアの中で唯一、鋭い権力批判を繰り返している新聞〔ノーバヤガゼータ〕がある。彼達は、死の恐怖を常に背中に感じながら権力と闘う、いやはやすさばじいジャーナリスト魂に驚きと同時に敬意を表したい。まだ、記憶に新しい 2004 年 9 月に北オセチアで起きた学校占拠事件では、主要なメディアは政府見解に従い 300 人もの人質を命を落とした責任をすべてテロリストに押しつけた。

しかし現地での 2 年間にわたるねばり強い取材の結果、政治的理由で突入が決まり、ロシアの特殊部隊が人質もろともテロリストを殲滅しようとした事実を暴露した。何とも強くたくましいメディアではないか。

私は、日本に自由で平等な民主国家ではあるが、日本のマスメディアの報道は本当に 4 つのテストに合致しているのか？はなはだ疑問であり、ジャーナリストの場合、4 つのテスト以外にもう一つ以下の文言が必要となるのでは？

それは、〔真の勇気があるかどうか？〕

#### クラブ例会予定 2010-2011 年度

2/17 北川雅一郎「留学のススメ」ーかわいい子には旅をさせろー

2/20 (日) IM 都市連合会 (兼合同例会)  
於：地場産業振興センター

2/23 (水) ポリオイルミネーション金沢城 集合 17:30

2/24 休会 (IM に振替)

3/3 休会 (2/23 ポリオイルミネーションに振替)

3/10 会員卓話

3/17 西村邦雄会長エレクト 「3/13 の P E T S 報告」

3/24 松本耕作様 (地区 R 財団委員長)

3/31 休会